

SUZU CAMPUS

日本風景街道大学
奥能登絶景海道
珠洲キャンパス

10/27 fri
2017

入場
無料

拠点づくり × 奥能登国際芸術祭 × 自動運転システム

会場 ラポルトすず 石川県珠洲市飯田町 1-1-8

奥能登岬めぐり

「半島の最涯で最先端の創造」

能登半島の最涯の地、珠洲市。

古くから海と陸の交流が盛んに行われ、特異な文化が育まれた珠洲は、
地理的に孤立していることから、日本文化の源流ともいうべき
昔ながらの暮らしや風習がいまでも残る地域です。

今回、「最涯」の地である奥能登の岬をめぐり、
そこで、いろんな「最先端」を見つけ出し、
風景街道の活動との役割を考えて行きます

お問合せ

日本風景街道大学「奥能登絶景海道 珠洲キャンパス」実行委員会

珠洲市観光交流課内

TEL 0768-82-7776 FAX 0768-82-5220

“^{さいはて}最涯” から “最先端” の創造
- 奥能登国際芸術祭 2017 の実践から -



基調講演 講演者

北川 フラム 氏 / 奥能登国際芸術祭総合ディレクター

1946 年新潟県生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。「アントニオ・ガウディ展」、「ファーレ立川アートプロジェクト」等をプロデュース。「大地の芸術祭」、「瀬戸内国際芸術祭」の総合ディレクターとして、芸術文化による地域づくりを実践する。

2015 年より「奥能登国際芸術祭」総合ディレクター。2006 年度芸術選奨文部科学大臣賞、2016 年紫綬褒章受章。

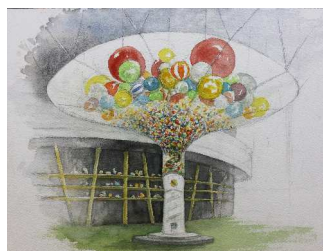
14:50 /10min ● 休憩

15:00 /60min ● パネルディスカッション① “アート・観光を軸にした地域活性化”

コーディネーター	白井 純子	氏 / NPO 法人 日本風景街道コミュニティ 理事
パネリスト	篠川 杏子	氏 / NPO 法人 能登すずなり 統括マネージャー
	小寺 美和	氏 / 木ノ浦ビレッジ支配人
	長江 健太	氏 / 奥能登国際芸術祭推進室主事
	刀祢 秀一	氏 / 奥能登岬みちづくり協議会会長

16:00 /60min ● パネルディスカッション② “日本風景街道が担う役割”

コーディネーター	石田 東生	氏 / NPO 法人 日本風景街道コミュニティ 代表理事
パネリスト	田中 孝治	氏 / NPO 法人 日本風景街道コミュニティ 理事
	藤井 美智子	氏 / (一社) 北海道開発技術センター主任研究員
	富山 英範	氏 / 国土交通省 金沢河川国道事務所長
	泉谷 満寿裕	氏 / 珠洲市長



17:00 /30min ● 閉会式

主催 / 日本風景街道大学「奥能登絶景海道 珠洲キャンパス」実行委員会

構成団体 / 奥能登岬みちづくり協議会・「道の駅」すず塩田村・「道の駅」狼煙・「道の駅」すずなり・珠洲市観光協会・奥能登国際芸術祭実行委員会・珠洲市・石川県・国土交通省北陸地方整備局・国土交通省金沢河川国道事務所・NPO 法人日本風景街道コミュニティ

協賛 / (一社) 北陸地域づくり協会

後援 / 金沢大学・珠洲商工会議所・北國新聞・北陸風景街道交流会議